

小樽商科大学 Barrel: 顔が見える活動で持続的運用を目指す

Barrelのようなサイトは非常に便利だと思います。でも、他大学ではBarrelのようなサイトはまだあまり発達していないのだから、自分の読みたいと思う論文はなかなか見つけれなくて...。あつ、あつと図書館にコピーを取りに行かざるを得ない状況になってしまいました(笑)。また、他の先生もおっしゃってました、ダウンロード件数を毎月、通知してくれるのは助かります。Barrelに対する意見というより、商大全体の業績管理システムに対する希望ですが、業績一覧を様々な形式で何回も提出してはいいないで手間がかかります。例えば新しい業績ができたときに、どこか1箇所に提出すると自動的に一括して管理していただけるようになると思います。教員の数が少ないのに、すでに2200件も論文が集まっているのはすごいですね。

- ★特徴1: 130名で2,383件
これは、北大(教員2000人)に換算すると...36,662件
京大(教員3000人)に換算すると...54,992件
東大(教員4000人)に換算すると...73,323件
- ★特徴2: 1年ちょっとで2,383件
H19.4検討開始 H19.11試験公開 H20.3正式公開
- ★特徴3: 85%の教員の論文を掲載
- ★特徴4: 成長し続けています!
- ★特徴5: 教員と連携した広報
収録100件ごとのインタビュー

一部を紹介します

簡単に論文を手に入れることができるということはとても重要なことだ。書物や文献がインターネットで公開されることもどんどん進んでほしいと思う。正直、Barrelの話を聞いたときは、本が売れない時代にどうかなとちょっと思ったが、遠隔地にもっと気軽に論文を読めるという知識の平等性が保障されてほしいと思う、Barrelはそれに貢献すると思う。それから、Barrelは文献の整理という意味でありがたい。大量の資料の中で研究しており、自分の文献がどこにあるかわからないことがあるので。

学会誌などは狭い世界で流通しているものです。そういったものの間口が広がるということについて有意義だと思います。Google Scholarを使っていますが、大学が提供しているPDFファイルが見つかる図書館で文献複写を依頼して待たなくてすむので嬉しい。そういう意味でもBarrelは本当に手軽で便利だと思います。また、アントレプレナーシップ専攻会議でされたBarrelの説明を聞いて、感心しました。小樽商大にこんなチカラがあったのか、ということと、それから、ナレッジ・オフィサー(組織レベルで組織的知識創造を主体的にマネージする役割を持つ)という言葉がありますが、まさにBarrelチームが果たしている役割だと思います。学会、出版社への連絡、登録作業全般を行ってくれるのがとても助かります。今後は、よりBarrelが活用されるよう、機能面が強化され、登録文献がもっと増えることを期待します。

Barrelに載せることで、自分の周りの同業者ばかりでなく、多くの人に読んでもらえる機会が増え、嬉しく思います。すぐに論文全文が入手できるのも嬉しいですね。企業法学科の先生方の論文は『商学討究』に掲載されることが多いのですが、『商学討究』という前の雑誌に法律の論文が載っているとはなかなか思わなかったので、他大学の法学部にはほとんど掲載されていないのではないのでしょうか。私の母校もそう、『商学討究』の論文を読むのに別の部の資料室まで行かなくてはなりません。そこで、Barrelに収録された『商学討究』の法律学の論文を多くの人に読んでもらって、『商学討究』が有名になるといいなと思います。

1200件目当選する前にも、以前書いた論文をBarrelに登録してもらっていたが、私自ら気づかずに削除してしまいました。例えば、JST(科学技術振興機構)のJ-stageで公開している論文もBarrelに登録していることに関してですが、最初はファイルを開き直して独自に持つことに消極的な考えでした。しかし、ファイルを一箇所のサイトにしておけば、メンテナンス時間等利用できない時間帯があるかもしれない。管理機能が変更したり、システム障害などで突然閲覧できなくなることかもしれない。それを考慮して、ファイルを登録していただくの意義があるのではないかと考えました。最近では、著者が冊子版の印刷の代わりに電子版を著者学会等もあります。そういった媒体をBarrelにどこまで登録できるのかという、著者の権利のことやクリアルなことは知らないのですが、また、個人が電子的に多くの論文の物理物を即時に取得できるようになったのは数年前からですが、自分自身、読みたい論文をインターネットで検索して見落しなくダウンロードできたいという気持ちも、そういった意味でもBarrelのようなサイトは有意義であると考えました。今後でも発展していただければと思います。Barrelは著作権の関係で全文を掲載できない論文があったりして、長所がわかりにくい点もあると思います。著者の権利と実際に雑誌に掲載されたものでは相違点があることで、著作権をBarrelに掲載するのにはためらいがあります。しかし、多くの場合は読者にもこれらの点は容易に理解できることで著作権が提供可能であることはよいことだと思います。

中国では論文のweb公開がかなり進んでいます。しかし、テキスト化されていない画像のデータも多く、また大抵はダウンロードに料金が掛かります。日本のweb公開は日進月歩ですが、中でも、学術論文は個人が頑張って調べて素直にアップする(笑)。漢字ばかりで面倒な論文を迅速にテキスト化してもらって大変感謝しています。書き手としても心強い支援者を得て、大変助かっています。Barrelは論文を発表する新たな場所として、紙媒体にまさる点も多く期待的な存在です。今後とも情報を蓄積し、安定した維持、運営がなされるよう、がんばってもらいたいです。

すばらしい企画だと思います。感心しました。社会に出て行って何かする社会的貢献というの、知の社会貢献として、意味のあるプログラムだと思います。学術情報の流通を促進する側面も期待されたいけれど、大学の発信力としても、Barrelは大きく貢献していますね。

今、日本で遅れていると思うことは、学術論文がインターネットで入手できるものが非常に少ないことです。英文系ですと、大学の論文は本学でもエクスポート等で検索できます。韓国の方もWEBで検索できるようになりましたが、肝心の日本の論文が、日本に居ても図書館を通じて1週間経たなければ入手できないケースが多いです。著者や読者、あるいは関係者が有るとは思いますが、有名雑誌に載る前の編纂・加工されていない原稿、それが実は研究者にとって大事で、そういったものがBarrelに沢山載っているのが助かります。公共産物ですから、その辺はどんどん頑張っていたらいいと思います。

アクセス数、ダウンロード数の通知してくれるのがいいですね。私の研究はかなりマイナーな分野なのに、予想以上に多くの人に読まれていることに驚かされています。なにより、たくさん読んでもらえると思ういですね!

この論文を書いた頃は、図書館で一つ一つ地道に論文を探してコピーしては読んでいました。研究は論文を読まないで進められないから、今はインターネットで論文が検索できるので、格段に便利になりました。自分の論文をいちいちコピーして学生に渡すのは大変なので、Barrelを指定して読むよう指導する、という使い方もできそうですね。ぜひ積極的に利用していただきたいと思います。

論文というのは自己満足で書くものではないので、研究業績として公表した文献について、Barrelのようなコレクションで公開しては当然のことだと思います。書き出した論文は公開することになったらあるという意思がある関係者ですが、その研究者の成長の過程を公開することにもなりますので、有意義なことだと思います。私の書いた論文については、せっかく書いたんだから、Barrelに公表してもらいたいです。

ダウンロードの多さに驚いています。ダウンロード数の詳細通知を見ると、同分野の研究者の所属する大学からダウンロードされていることがしばしばあります。同じ研究をしている研究者が論文を読んでもらえるのは嬉しいことです。かつては、同じ研究をしている人の論文を読むために有料のデータベースを購読していたのですが、今は無料のGoogle Scholarを検索するだけでBarrelのようなポータルで公開されている論文を読むことができるようになって便利になりました。

まずは、大変すばらしいことだと思います!私が研究する上で必要なは、ほとんどアメリカの文献です。アメリカで出版された本や学術雑誌は日本に比べても手に入りますが、民間の研究機関が出している報告書などは、著者とタイトルが公開されているものも、実際に現地へ赴き研究機関を訪ねなくては手に入らな。笑。2度ほどアソシエイトへ行って文献をもらってきましたが、アメリカで発行の報告書は非常に大変です。それを思えば、研究に1層かかるとはさすが手に入る。Barrelのような手段があるのは本当に素晴らしいことだと思います。今後、もっと多くの機関でこのようなシステムを取り入れてくれれば、大いに助かることですね!

この論文については、既に筑波大学の同僚コレクションに掲載され、検索・閲覧ができるようになっています。今回Barrelでも掲載され、学内から見やすくなりました。

古い文献やマイナーな文献がオンライン化されることは、とても意義があります。

こんなにアクセスされるとは初め思わなかった。雑誌読みたいと思いました。毎月ダウンロードされているので驚きました。思った以上にインパクトがあるようですね。

大変素晴らしい制度だと思います。正式公開後約4ヶ月で、800件も登録されたのは驚くべきことです。また、出版社との交渉等も図書館が全部引き受けてくれて、本当に感謝しています。雑誌論文だけでなく、編者本なども出版社の許可が下りれば掲載できるとのことですが、この種の著作物はなかなかアクセスしづらいものなので、公開してもらえると大変助かります。Web公開によって論文をコピーしたり取読する手間が省けますし、何より、いろいろな分野の研究者の論文を手軽に読むことができるのが便利ですね。

ダウンロード数通知してくれるシステムがいいですね。自分の論文に多くの人が関心を持っていると思うと励みになります。また、インターネットで簡単に検索でき、プリントアウトもできるのは大変助かります。外国にいても論文を呼び出せるので、時代の先端を行ってほしいですね。最近では学生でもインターネットで資料を検索する人が増えています。論文に載せることで学問に読んでもらえる可能性も高くなります。授業で自分の論文をWeb上から手軽に紹介できるのも嬉しいですね!

つくるという準備をしていた人が大変なわけではないとすごく感じます。Barrelに実際に論文を出版するというのは大変だと思いますが、Barrelに掲載されたお陰で多くの人の目に通してもらったことなので、ありがたいことだと思います。Barrelが出来た当初はどういうふうになるのか見当もつかなかったのですが、実際に多くの人にアクセスしてもらったということが分り、Barrelにまとめたことが意味があったのではないかと実感しています。雑誌に掲載された論文を出版社としてBarrelに掲載を許していいものがありますので、書いて論文全てをBarrelに掲載するのは難しいですが、できる範囲で、できるだけ多くの人に公開して欲しいというのでもよいことだと思います。今は、雑誌とかが売れなくなっているところがありますが、出版社との協力関係が求められているのではないのでしょうか。(ダウンロード件数が10万件目記念インタビュー)

今の学生は情報入手が楽になったと思うが、もっと簡単に手に入るようになっておきたい。インターネットに頼りすぎる。情報がありすぎるという心配はあるが、いくら情報があっても理解する能力、モノを調べていく力がなければ意味がない。教育の意味はそこにあると思う。

世の中には物知りが多いので、厳しい指摘を受けるのではないかと恐れる面もあります。でもそのおかげで書くものにより責任を持つようになるので、論文にどの程度の学問の進歩についていこうと、この先、道義的に過去の論文が増えていけば、かなり役立つようになると思います。また、世界中から検索できるので、インターネット翻訳から自動的に英訳できることで、自分がかいた論文が入手しやすく誰にも読まれるようになるのは、とてもいいことです。Barrelは、まだ先が長い膨大な作業だと思えますが、頑張ってください。

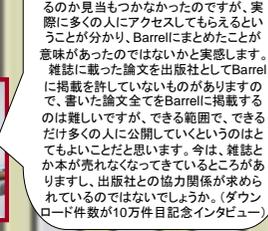
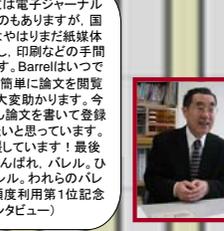
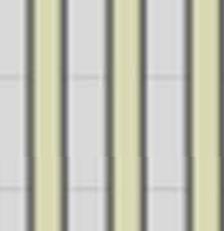
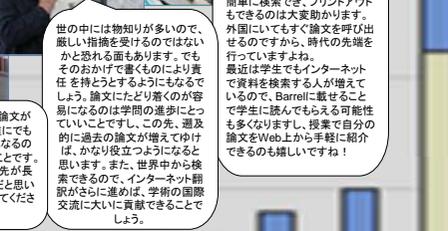
自分が書いた論文が入手しやすく誰にも読まれるようになるのは、とてもいいことです。Barrelは、まだ先が長い膨大な作業だと思えますが、頑張ってください。

海外の論文は電子ジャーナルで読めるものもありますが、国内の論文はやはりまだ紙媒体が多いです。印刷などの手間がかかります。最近では学生でもインターネットで資料を検索する人が増えています。論文に載せることで学問に読んでもらえる可能性も高くなります。授業で自分の論文をWeb上から手軽に紹介できるのも嬉しいですね!

海外の論文は電子ジャーナルで読めるものもありますが、国内の論文はやはりまだ紙媒体が多いです。印刷などの手間がかかります。最近では学生でもインターネットで資料を検索する人が増えています。論文に載せることで学問に読んでもらえる可能性も高くなります。授業で自分の論文をWeb上から手軽に紹介できるのも嬉しいですね!

海外の論文は電子ジャーナルで読めるものもありますが、国内の論文はやはりまだ紙媒体が多いです。印刷などの手間がかかります。最近では学生でもインターネットで資料を検索する人が増えています。論文に載せることで学問に読んでもらえる可能性も高くなります。授業で自分の論文をWeb上から手軽に紹介できるのも嬉しいですね!

海外の論文は電子ジャーナルで読めるものもありますが、国内の論文はやはりまだ紙媒体が多いです。印刷などの手間がかかります。最近では学生でもインターネットで資料を検索する人が増えています。論文に載せることで学問に読んでもらえる可能性も高くなります。授業で自分の論文をWeb上から手軽に紹介できるのも嬉しいですね!



100件目

500件目

1,000件目

1,500件目

2,000件目

2,383件目

2,383件目